

科目名	箱づくり法	担当教員	松田 竜幸 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------	------	---------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	4年次	後期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR42E	②、③					

科目概要	箱づくり法は、箱を作り、振り返る一連の作業を通して対象者の作業能力・対人技能などを評価する作業面接である。作業体験を共有することにより、客観的指標と主観的体験内容に基づき、具体的な援助を対象者と確認することができる。また、数値化、視覚化されたデータは対象者や治療チームに具体的なエビデンスを提供する。本講義では、臨床で使えるようになることを重視し、箱づくり法のやり方やデータの読み方を中心に、臨床場面で見落とし、見誤り、思い込み陥りがちな治療者自身の“評価の目”を養うことを目的とする。
学習目標	① 箱づくり法の概要を理解する。 ② 箱づくり法を実践し、記録することができる。 ③ 得た情報をまとめることができる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	箱づくり法とは何か	箱づくり法の概要を理解する。	
2	作業面接	実施方法の確認と注意点	マニュアルを理解し、使用書式を確認する。	
3	作業面接	実施方法の確認と注意点	評価結果のデータ入力方法、結果の解釈を理解する。	
4	作業面接演習	箱づくり法の実施	箱づくり法を実際にも実施し、結果を入力できる。	
5	作業面接演習	箱づくり法の実施	箱づくり法を実際にも実施し、結果を入力できる。	
6	結果のまとめ	データの解釈・評価のまとめについて	結果をまとめ、解釈ができる。	
7	結果のまとめ	データの解釈・評価のまとめについて	まとめ、解釈を使用書式に記入できる。	
8	結果のまとめ	データの解釈・評価のまとめについて	評価結果を対象者に伝えることができる。	
評価方法		筆記試験(100%)		
課題に対するフィードバック		講義中、講義終了後に質問を受け、回答する。		
教科図書		資料配付		
参考図書		箱作り研究会・編『箱づくり作業面接としての箱づくり法』2013年		
学習の準備		予習：配付資料や参考図書に目を通し、事前に考える機会とする。(90分) 復習：講義で理解できた内容と、理解が不十分な内容を整理し、自主学習、担当教員への質問の準備を行う。(90分)		

オフィスアワー	毎週水曜日 16 : 20～17 : 50. その他は, 随時対応する.
担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	